【案】

資料 2

令和５年９月 26 日

中野市長　　湯　本　隆　英　　様

中野市保育所等運営審議会
会長　中　村　幹　夫

中野市保育所整備計画の一部改定について（答申）

令和５年８月７日付けで諮問を受けました中野市保育所整備計画の一部改定について、下記のとおり答申します。

記

市では、保育所の適正規模・適正配置、合理的な保育サービスの提供や質の向上、安全・安心な施設整備を実現するため、保育所整備計画を策定し、統廃合等を進めてこられました。

今回、保育所整備計画において「保育所を新たに改築する場合は、施設の老朽化、児童数の推移、運営方法等を踏まえながら検討する。」としていたことについて、新たな方針が示されたことから、中野市保育所等運営審議会において、民設民営方式による改築などのメリット・デメリットやパブリックコメントの市民意見などを確認し、議論を行いました。

その結果、老朽化した園舎の早期建て替え、市民の多様な保育ニーズに対応でき、市の財政負担が軽減できるなどメリットが多く、また、民間に保育を移譲したとしても、その責務は変わらず市にあることが確認できたため、中野市保育所整備計画一部改定（素案）について適当であると認めます。